
基本画面	1日の業務の流れ	2
	画面の説明	3
	データ同期	4
	販売画面の表示モード	5

販売業務	販売員の指定	6-7
	販売業務	8-9
	お会計処理	10-11
	現金支払い	
	カード支払い	
	その他の支払い	
	領収証の発行	12-14
	但し書き	
	分割発行	
	取引履歴からの発行	
オプション設定 項目設定	15	

販売の応用	割り込み販売	16
	分割販売	17
	値引・割引	18-21
	単品値引・割引	
	小計値引・割引	
	クイックコマンド	
	取引のキャンセル	22-23
	取消	
	消込レコード作成	
	返品販売	24
キャンセルした取引の履歴を確認する	25	

閉店作業	精算と締め処理	25
------	---------------	----

1日の業務の流れ

データ同期

クラウドサーバーから商品などの情報をダウンロードして、アプリ内データを最新の状態に更新します。

販売業務

営業中のお会計作業を、スマレジで行います。

レジ締め

1日の売上を精算します。
その後、売上を締めます。

画面の説明



アプリメニュー
アプリのメニューを表示します。詳細設定を行う項目もここにまとまります。

明細一括編集
任意に選択した複数商品に、一括で値引や割引を行います。

オプションショートカットボタン
お会計時によく使う項目のショートカットボタンを、任意に4つまで設定できます。
※設定方法はP15をご確認ください

商品選択メニュー
商品一覧
商品リストの一覧表示を呼び出します。

部門販売
部門と金額を任意に指定して販売を行います。未登録商品の販売などに使用します。

取引中止
現在の取引を中止し、初期状態に戻します。

バーコードスキャン
端末カメラを使用してバーコードを読み取り、商品を読み出します。

オプション
買上商品が追加されている・いないで表示されるメニューが変わります。

販売員選択
レジ担当者を選択します。販売員を選択するには、事前に管理画面から担当者の登録が必要です。

お気に入り
お気に入り登録した画像から商品を読み出します。事前に管理画面から画像の登録が必要です。

> 買上商品なし
取置き / 入金金 (小口) などのメニューを表示します。
> 買上商品あり
割り込み (保留) や分割会計などを表示します。

クイックコマンド
値引 / 割引やタグ付けなどを行うショートカットボタン。事前に管理画面でボタンの作成や設定が必要です。

商品コード
商品コードを入力して商品を読み出します。

データ同期

業務開始前に端末のデータとサーバー上のデータを同期し、商品の情報などを最新の状態へ更新しておきます。

販売画面からデータを同期する方法。

※販売画面右上のデータ更新ボタンをタップし、更新用ポップアップを表示させます。



設定メニューからデータを同期する方法。

※メニュー > 設定 > データ管理 と進み、同期画面を表示させます。



※スマレジは、大事な売上のデータや顧客情報などはスマレジ端末には保存されません。データはすべてクラウドサーバーと呼ばれるサーバーにて保存・管理されます。マスター管理画面ですべての操作が行え、登録されたレジ端末によって販売業務を行います。

販売画面の表示モード

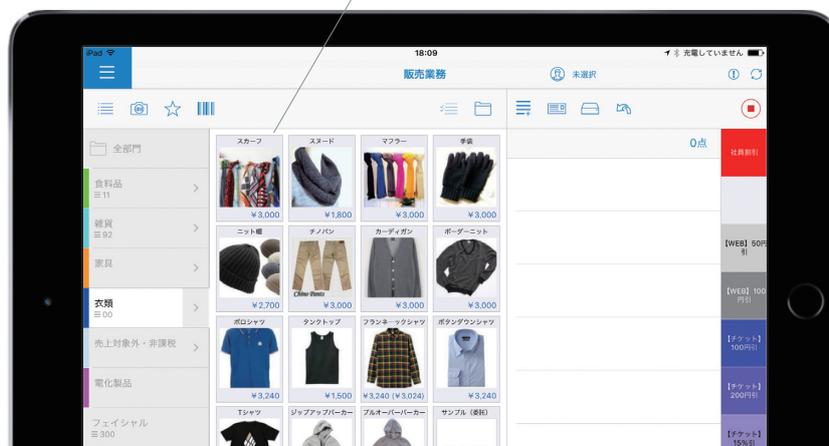
かんたんモード

※商品に登録したアイコン画像を表示し、画像から商品を選択できるモードです。表示タイプは2種類から選択可能。

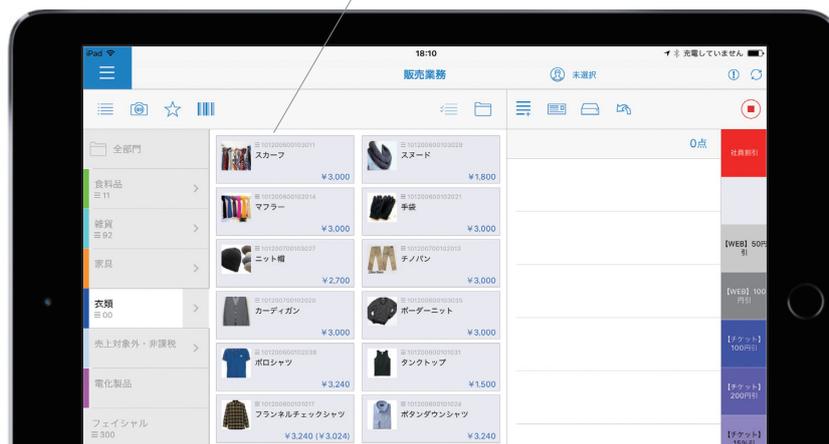
※メニュー > 設定 > 販売設定 > モード設定：販売モード から選択します。

※販売モードが「かんたん」に設定されていると、モード設定に「詳細」設定が追加で表示されます。詳細 > 商品：パネルタイプから、表示される画像タイプを選択できます。「タイプ1」が大、「タイプ2」が小です。

パネルタイプ1 (画像サイズ：大 / 品名サイズ：小)



パネルタイプ2 (画像サイズ：小 / 品名サイズ：大)



かんたんモードで表示させる画像について

事前に管理画面から画像を登録する必要があります。「アイコン画像」に登録された画像が、『かんたんモード』と『お気に入り』に表示されます。

販売員の指定

レジ打ちの担当者を選択できます。

※事前に管理画面から販売員を登録しておく必要があります。

担当者を販売画面から選択



2種類の販売員指定について

【固定の販売員】

画面上部の担当者は、お会計が完了し、新規の取引を開始した場合にも担当者として残ります。レジでお会計を担当される方が基本的に変わらない運営の店舗におすすめです。アプリ設定の、『販売設定』で『担当者』がONになっている場合は固定の販売員は設定できません。その際は、項目自体が非表示になります。

【お会計ごとの販売員】

画面下部の担当者(お会計ごとの販売員)は、お会計が完了し、新規の取引を開始した時点で空欄に戻ります。レジでお会計をされる方が一定ではない運営の店舗におすすめです。

両方の担当者を指定した場合、履歴やレシートには「お会計ごとの販売員」が表示されます。

※両方を併記することはできません。また、登録のない担当者を新規で入力することはできません。

販売開始時に必ず担当者の選択を行う設定

※**☰**アプリメニュー > 設定 > 販売設定 > 担当者 の各項目をONしておく必要があります。



担当者の選択

担当した販売員をレシートに印字したり、取引履歴に残すことができます。

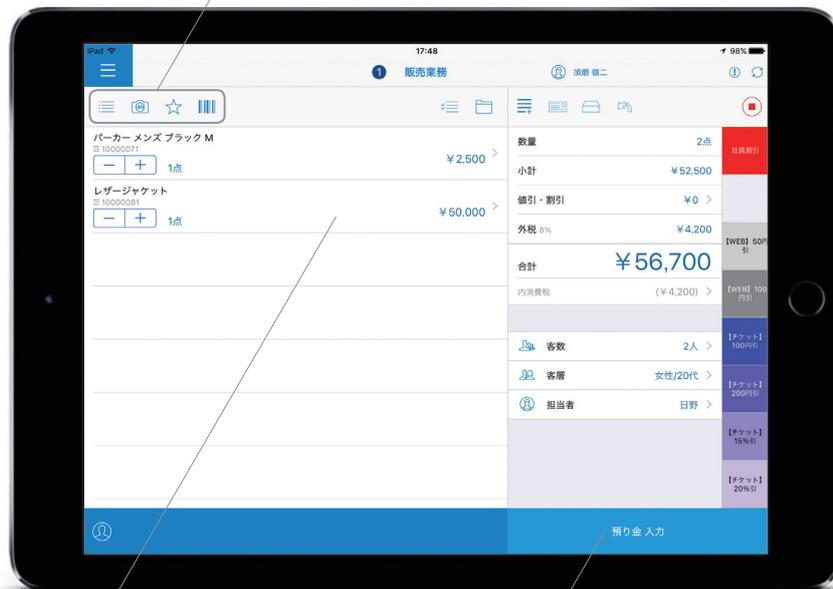
販売業務

お買い上げ商品を追加していきます。全ての商品呼び出ししたら、数量と金額を確認して『預かり金入力』をタップします。

※バーコードリーダーをご利用の場合、本画面のままでスキャンを行なってください。買上商品として追加されます。

※スキャン時に未登録商品になる場合、商品マスタに登録されていないか、同期がとれていない可能性があります。

商品を検索します。動作詳細については下記を参照のこと



買上商品が追加されます

預り金入力画面を開きます



販売業務の種類について



商品一覧
商品リストの一覧表示を呼び出します。



お気に入り
お気に入り登録した画像から商品呼び出します。事前に管理画面から画像の登録が必要です。



商品コード
商品コードを入力して商品呼び出します。



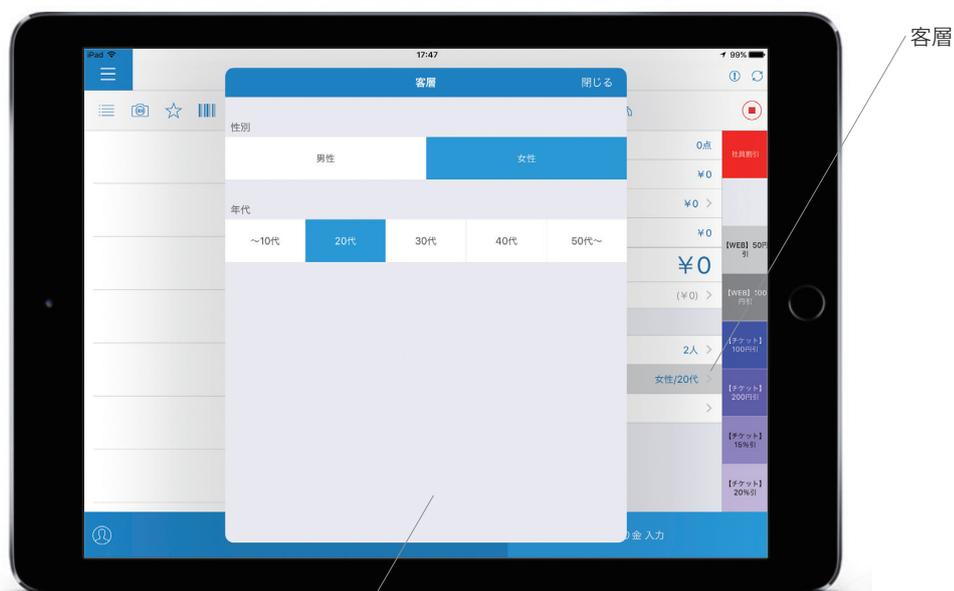
バーコードスキャン
端末カメラを使用してバーコードを読み取り、商品呼び出します。



客層機能をONしている場合、客層を入力します。

※複数の客層セクションが設定されている場合、全て選択していただく必要があります。(セクション数は最大5)

※客層機能がONの場合、お会計毎に必ず選択していただく必要があります、スキップはできません。

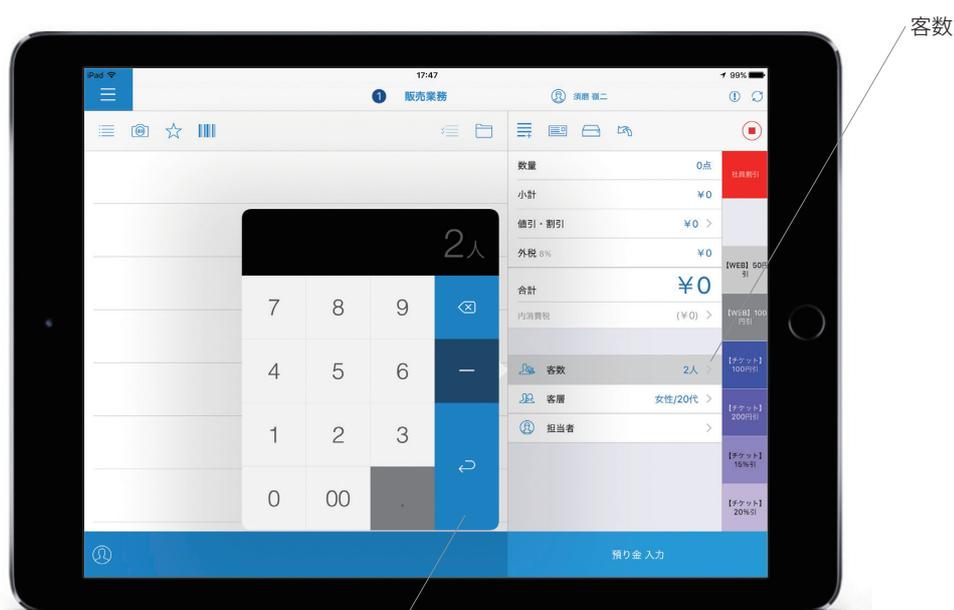


各セクションからそれぞれ1つずつ選択します

客数機能をONしている場合、客数を入力することができます。

※初期値は1人です。

※客層のように必須にはできません。(入力ない場合は1人です)



人数を打ち込み、Enterキーをタップします

お会計処理

預り金入力画面を開き、支払方法の選択と金額の入力を行います。



入力が完了したら『チェックアウト』をタップします。

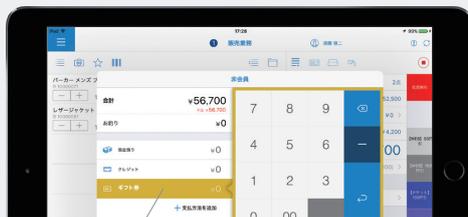
※数字を何も入力せずにチェックアウトをタップすると、お釣りのない現金受け取りとして扱われます。
(支払い種別をクレジットやその他支払いにしても同様です)



支払方法の併用も可能です。(例：ギフト券を使用し、残り分を現金 など)

入力が完了したら『チェックアウト』をタップします。

※選択している支払方法で枠色が変わります。(現金：青 / クレジット：緑 / その他支払：黄色)
※『その他支払い』は事前に管理画面から項目を登録する必要があります。



その他支払 (例はギフト券) 分の金額を入力



現金預かり分の金額を入力

現金預かり

現金預り	¥52,000
クレジット	¥0
ギフト券	¥5,000

クレジット

現金預り	¥0
クレジット	¥0
ギフト券	¥5,000

その他支払い

現金預り	¥0
クレジット	¥0
ギフト券	¥5,000

お会計処理の完了。

※レシートが発行され、ドアが開きます。(レシートの再発行/領収証の発行は『レシート』ボタンから行えます)

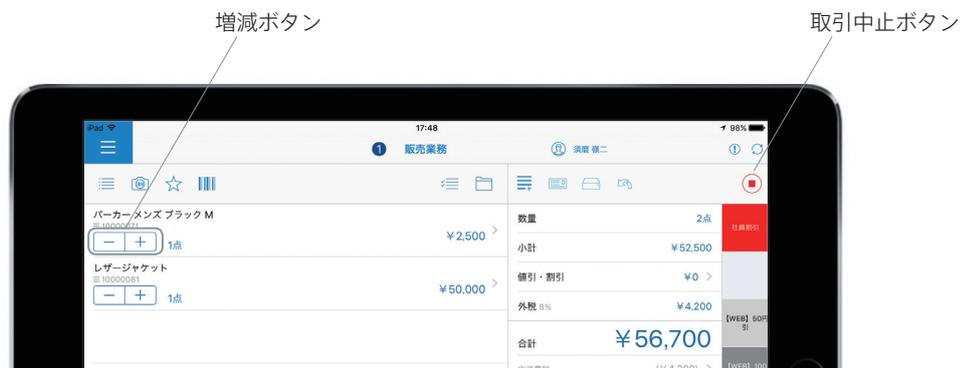
※『< 新規取引』をタップすると最初の画面に戻ります。



お会計処理の中止。

※取引中止ボタンをタップしていただくと、進行中のお会計が中止され、新規取引が開始されます。

※商品ごとに中止する場合、商品名下の増減ボタンで点数を『0』にするか、商品項目をスワイプし削除をタップします。



本紙の説明は「チェックアウト画面を使用する」設定をONにしています

「チェックアウト画面を使用する」がOFFの場合、上図『会計種別の内訳』の項目で直接入力します。その際は、【預り金入力】ボタンが【チェックアウト】ボタンとなります。

領収証の発行

チェックアウト後に表示される『レシートボタン』から『領収証発行』を選択します。



① レシートボタンをタップします

② 領収証発行を選択します

領収証の印刷内容を確認する画面が表示されます。金額、但し書き、分割などの内容も全て表示されています。領収証印刷メニューが表示されるので、金額に問題がなければ『印刷』をタップしてください。

※合計が50,000円（税抜き）以上の場合、『収入印紙』アイコンが表示されます。



金額変更、但し書きの追加が可能です

領収証の分割を開始します（電卓が表示されます）

印刷が開始されます

金額の変更や、但し書きの追加を行う方法。

※但し書き『手入力』以外は、事前に管理画面から登録を行なっておく必要があります。

※『手入力』はiPadのキーボードで任意の文字列を入力できます。



領収証の内容を分割して発行する方法。

※内訳ごとに領収証を分けることが可能です。



領収証の合計値と、会計金額に差異があると発行されません。

会計金額を超過 / 不足する場合、領収証の発行は行えません。分割発行を設定し、片方を削除した場合などは金額が自動で戻ることはありません。その場合には金額の修正や、中止して再度作業していただくなどの調整を行ってください。

取引履歴から領収証を発行する方法。

※☰メニュー > 取引履歴 > 年 / 月 > 日 > 該当取引 と進み、明細画面の最下部の【レシート】から発行します。



領収証を発行します

取引履歴からの領収証発行も、詳細操作(但し書き・分割)は、通常の領収証発行と同様に行なっています。



☰ オプションメニューとオプションショートカットボタンの設定について。

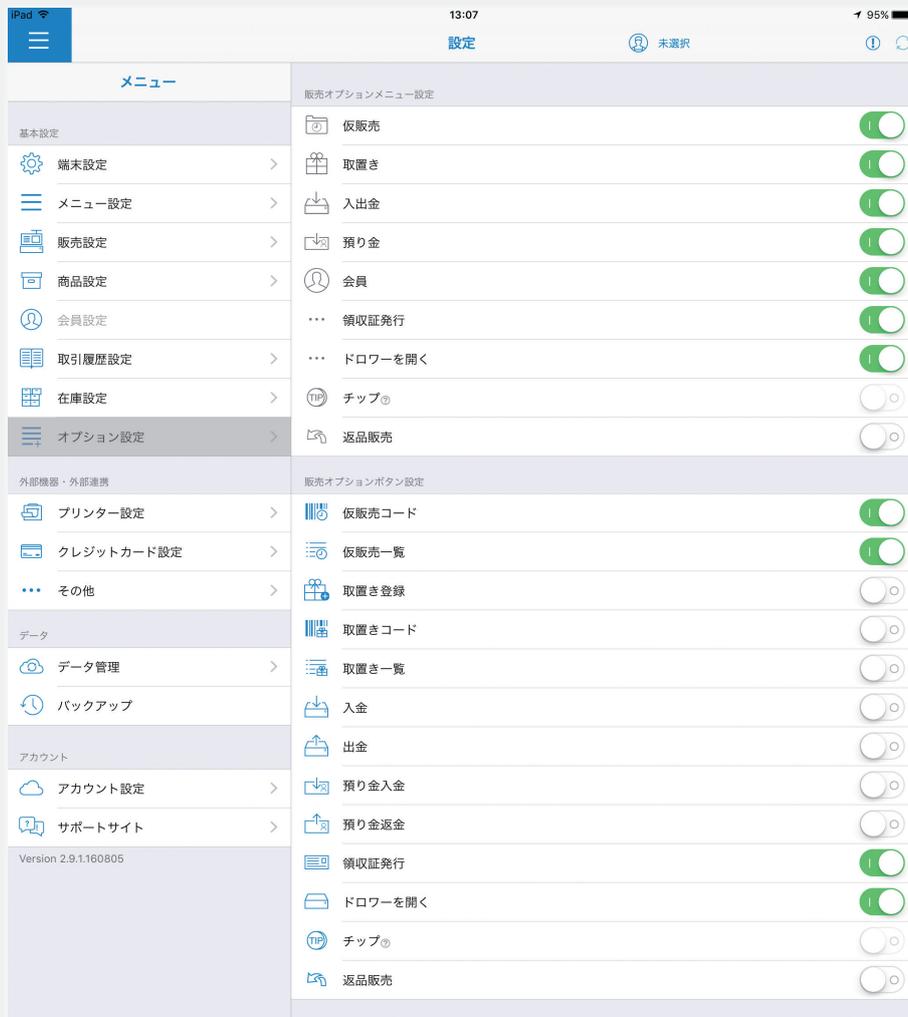
【オプションメニュー】

販売画面上部に表示されているオプションボタンタップ時に表示されるメニュー項目を設定します。『オプション設定』内、上段の設定「販売オプションメニュー設定」の各項目をON/OFFして設定します。

【オプションボタン】

販売画面上部、オプションメニューの右側に任意のショートカットボタンを設置できます。設置可能な数は最大4まで、1つも設置せずにご利用いただくことも可能です。オプションメニュー内から選択可能な項目から、特に使用頻度が高い操作を表に表示させておくことができます。店舗での作業に合わせてご設定ください。

オプション設定画面 メニュー項目一覧。



割り込み販売

現在会計中の取引を一時保存し、別の取引を開始することができます。

画面上部の数字は一時保存された取引も含め、進行中の取引数を表示しています。この数字をタップすると取引が一覧表示され、保存された取引の確認や切り替えが行えます。一覧では取引を開始した時刻が表示されているので、切り替える場合は時刻と商品や金額で確認します。『新規取引』から、新規割り込み販売を開始することもできます。

※一覧の中の、文字がグレーになっている取引が現在表示中の取引です。

※取引が残った状態でお会計を完了させた場合、新規取引画面と一覧が表示されます。



他のお客様の取引と間違えないよう注意しましょう

どのお客様の取引が表示されているかをしっかり確認しながら操作を行きましょう。画面上部の数字が「1」以外になっている場合は途中のままの取引が存在していることを意味していますので、会計忘れなどがないように管理をしてください。

取引一覧に表示されている内容について

【時刻】取引を開始した時間が表示されます。

【金額】現時点での合計金額が表示されます。

【点数】取引に含まれる商品点数が表示されます。

【商品名】取引に含まれる商品が表示されます。(数が多い場合、全ては表示されず、省略されます)

分割販売

登録中のお会計を指定商品ごとに分割します。『オプションボタン』をタップし、メニューから『取引分割』を選択します。



分割する商品の選択画面が表示されます。一覧から分割する商品をチェックし、『完了』をタップします。選択した商品のお会計画面へ移動します。

- ※買上商品に、分割用一覧で選択した商品が追加された取引画面が表示されます。
- ※1回の分割で1取引が追加されます。繰り返すことで分割数を増やすことができます。



単品値引・割引

商品に対しては値引・割引を行います。各商品の明細から適用させる方法と、☰明細一括編集で適用商品を選択して一括で適用させる方法があります。

買上商品の明細から値引・割引を行う

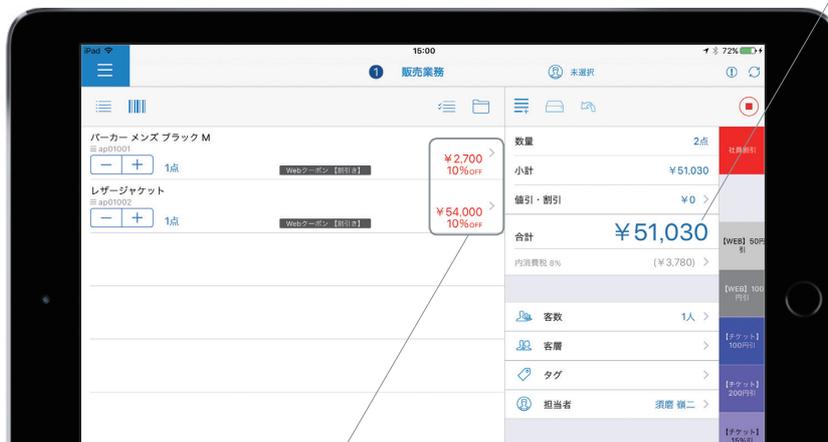


明細一括編集から値引・割引を行う

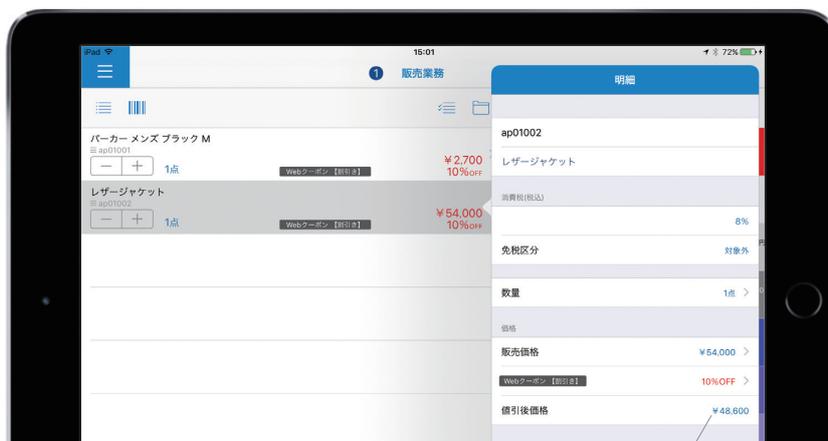


値引・割引が適用されると、商品価格が赤色になります。

値引・割引が適用された金額です



適用された値引・割引が表示されます。区分を選択した場合、区分も表示されます



単品の値引・割引後の価格は明細から確認できます



値引・割引は重ねて適用させることもできます

適応後に『値引・割引』項目をタップし、『さらに値引(割引)』を選択します。

[さらに値引] 値引額が加算されていきます。(500円から「さらに値引」で500円を追加し結果は1000円引き)

[さらに割引] 割引反映ごの割合が加算されていきます。(20%引きから「さらに割引」で20%引きを追加した結果は36%引き)

※『値引+割引』は行えません。『値引』後は[さらに値引]のみ、『割引』後は[さらに割引]のみが可能です。

小計値引・割引

お会計全体に対する値引・割引を行います。



設定済みの区分が表示されます。それぞれの区分は事前に管理画面から登録する必要があります

値引は金額、割引はパーセントを入力します（入力単位は自動で切り替わります）

値引・割引が適応された金額です



反映された値引・割引が表示されます。区分が指定されている場合、[値引・割引]の文字列と切り替わりで表示されます。



※区分の表示例



商品や店舗の税区分によって、値引・割引後のお会計金額が変わります。

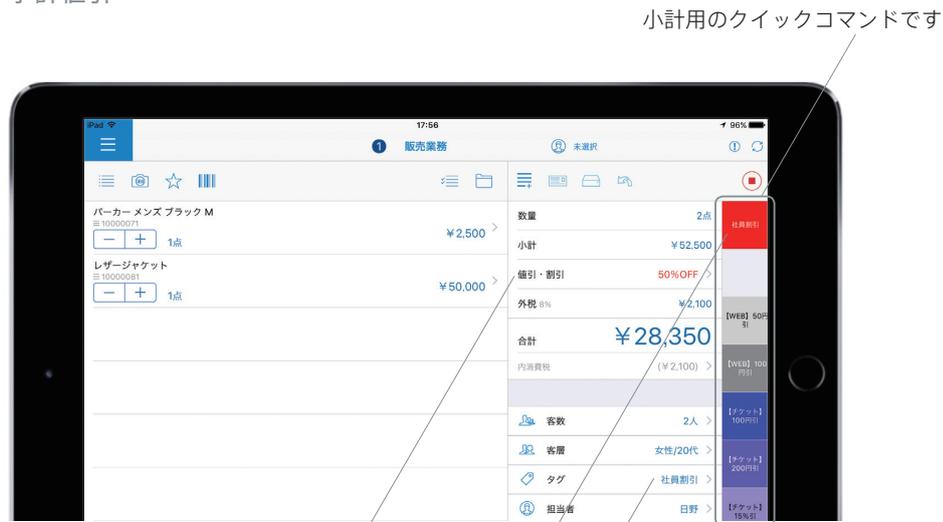
[店舗：外税販売 / 商品登録：税抜] 商品単価の合計(小計) から値引・割引を行い、値引・割引後の価格に課税して合計します。
 [店舗：内税販売 / 商品登録：税抜][商品登録：税込] 商品一覧に表示された金額の合計から値引・割引を行います。

クイックコマンド

小計と単品それぞれに、決まった値引・割引の短縮キーが登録できます。

※クイックコマンドは事前に管理画面で登録しておく必要があります。

小計値引



単品値引

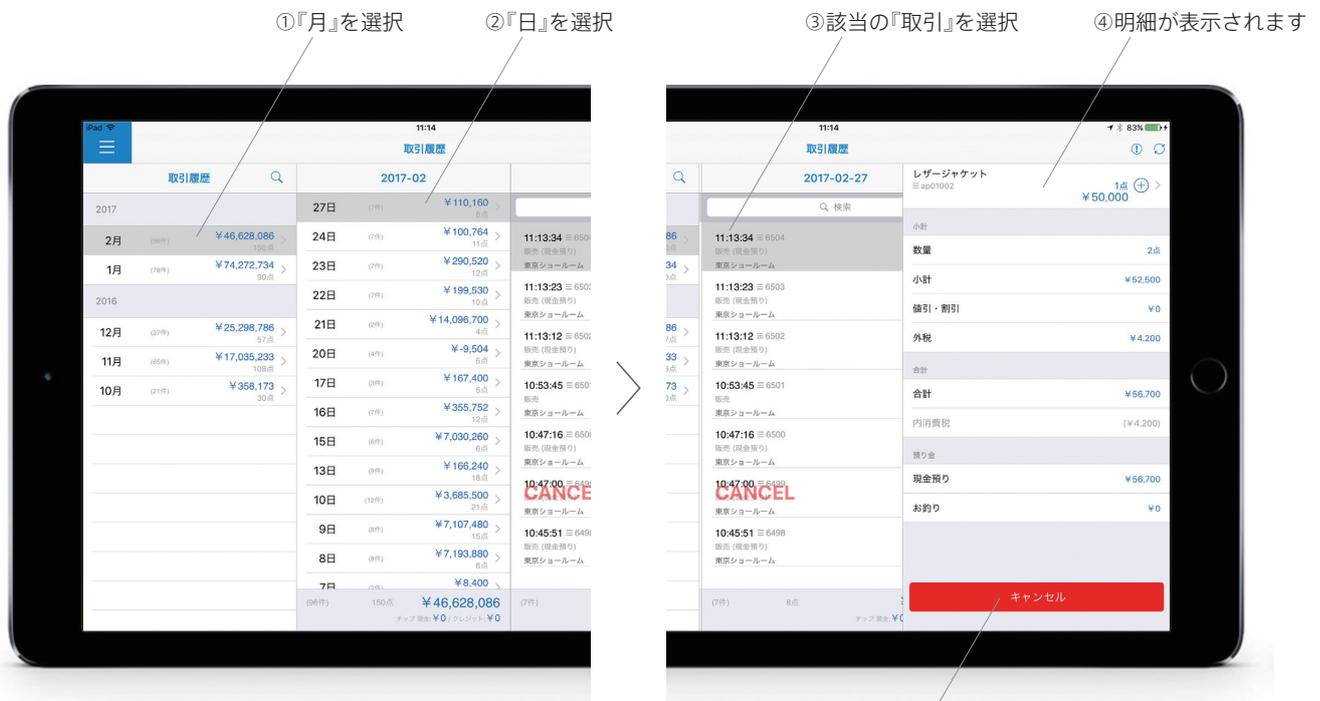


取引のキャンセル

一度販売を完了させた取引をキャンセルします。販売画面からではなく、アプリメニュー『取引履歴』から該当取引を選択して実施します。

※アプリメニュー > 取引履歴 > 年/月 > 日 > 該当取引と進み、明細画面の最下部の【キャンセル】から取消します。

キャンセルを行う取引をタップして表示し、実施します。



明細の最下部に【キャンセル】のボタンがあります。
ここから取引の取消を行います

キャンセルが実行されます。

※確認がポップアップされ、『はい』を選択するとキャンセルが実行されます。

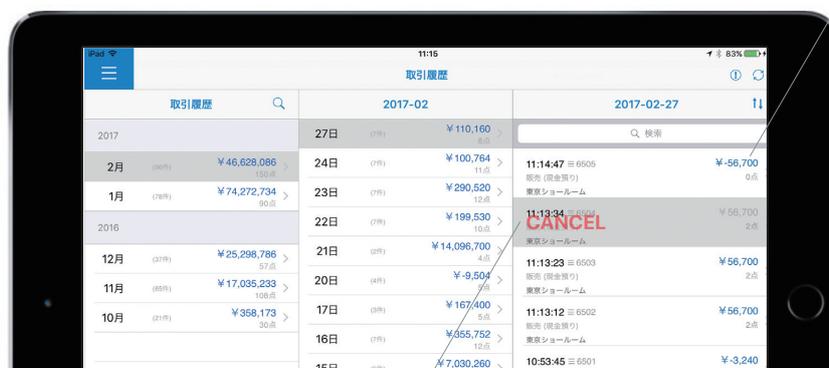
※実行後、OKをタップすると取引履歴画面に戻ります。



※実際の画面では2つ並んで表示されません。

キャンセルが実行され、取引履歴に【CANCEL】と表示されます。『消込レコード作成』が適用される場合は、取消元に【CANCEL】と表示され、別途打ち消し用の消込レコードが作成されます。

消込レコードは、マイナス売上として計上されます



キャンセルになった取引に『CANCEL』と表示されます



キャンセルを行った履歴は修正出来ません

キャンセルを行うと、管理画面上では販売時の履歴は『返品取消元』と、消込みレコードは『返品取消』と表示されます。キャンセルに関する履歴は締め日付の修正程度しか調整が行えません。キャンセル作業や返品処理を行う場合は内容に間違いがないか、よく確認してから作業を行ってください。

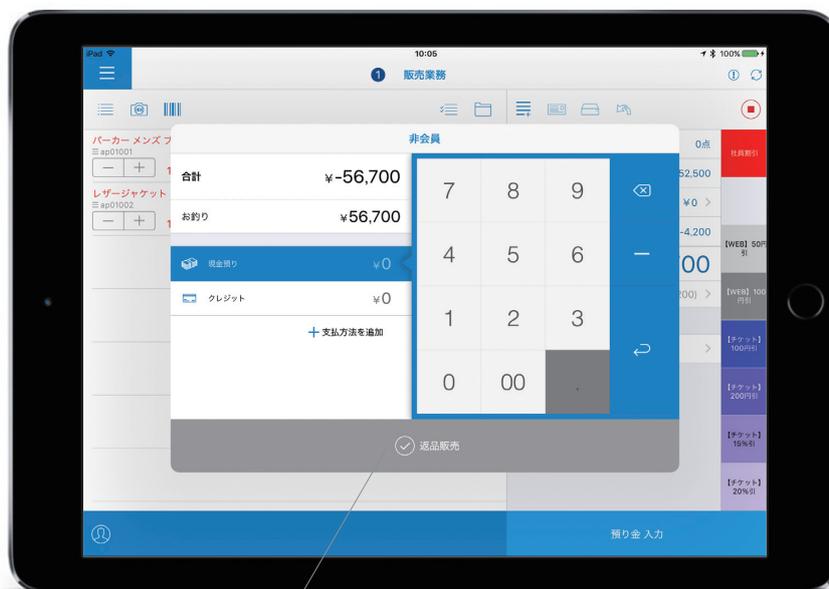
返品販売

履歴のキャンセルではなく、返品とする場合は『 返品販売』を行います。

返品販売の開始



返品販売が開始されるので、商品を追加します。商品やレシートを元に正しい商品を追加しましょう。『**預り金入力**』をタップすると返金額が表示されるので、問題がなければ【返品販売】をタップして完了です。



タップし、新規取引を開始すると、通常取引が開始されます

キャンセルした取引の履歴を確認する

アプリメニュー『取引履歴』の明細に、キャンセルの詳細が記載されています。



管理画面上の取引履歴では、取消や消込に該当する取引の背景色が変更されます。返品販売は『取引種』に【返品】と表示されています。

取引種	取引ID 取引日時	単品		小計			数量(返品)	合計				取引店
		値引	小計	値引	割引率	ポイント利用		現金	クレカ	その他	内税	
返品 通常	31 2017/03/16 10:00:35	¥0	¥-52,500	-	-	-	0(2)	¥-56,700	¥0	¥0	¥-4,200	東京ショールーム
通常 取消	30 2017/03/16 09:58:10	¥0	¥52,500	-	-	-	2	¥56,700	¥0	¥0	¥4,200	東京ショールーム
通常 返品 取消	29 2017/03/16 09:57:41	¥0	¥-52,500	-	-	-	0(2)	¥-56,700	¥0	¥0	¥-4,200	東京ショールーム
通常 返品 取消 元	28 2017/03/16 09:57:12	¥0	¥52,500	-	-	-	2	¥56,700	¥0	¥0	¥4,200	東京ショールーム
通常	27 2017/03/16 09:56:56	¥0	¥52,500	-	-	-	2	¥56,700	¥0	¥0	¥4,200	東京ショールーム

赤字はマイナス売上を表しています

※アプリではなく、ブラウザでご確認いただく管理画面での表示です。



キャンセルの種別

- 【取消】 取引履歴を直接キャンセルします。売上の計算からは外れるので、当日の取引をキャンセルする場合にオススメです。売上からは取引数・客数共にマイナスされます。
- 【消込レコード作成】 元になる取引に対して、マイナス売上の取引を作成します。元の取引の取引日の売上はそのまま、消込レコードを作成した日にマイナスの取引が立ちます。締め処理済みの特定の取引をキャンセルする場合にオススメです。消込み元の売上は変更ありませんが、レコードを作成した当日の取引数は1つ追加されます。客数は消込元・レコード作成の売上共に変動はありません。
- 【返品】 取引を指定せず、商品を指定してマイナスの売上を作成します。取引単位のキャンセルではない場合や、元の取引が不明な場合におすすめです。マイナスの売上を新たに立てるため、取引数・客数共に追加されます。

精算と締め処理

1日の終わりに精算を行います。精算は各レジ端末で行い、端末でどれだけの取引が行われたかを確認します。



『精算』をタップします

精算・点検の画面が表示されます。【精算】ボタンで確認を開始します。

※点検レシートは出力時点までの端末上の取引合計を出力します。(1日のうち、何度出力していただいても問題ありません)

※精算を行うと、端末上に積算されていた取引は初期化され、売上が0円へ戻ります。



点検レシートを印刷します

ドロワーを開きます

精算を開始します

【店舗】店舗売上ページを表示します

ドロア内の現金を金種ごとに入力し、精算レシートを出力します。



キャッシュカウントを終了し、問題なければ『実行』をタップします。各金種の枚数が記載された精算レシートが出力されます。



端末売上の入力金額について

【釣銭準備金】

釣銭用に準備しているお札や棒金の合計金額を入力します。毎日の釣銭準備金に変動がない店舗の場合、事前に管理画面から店舗の設定で『銀行預入金の自動入力』を ON にしていただき、釣銭準備金金額を設定しておくことも可能です。

【銀行預入金】

精算日の現金売上分を入力します。端末売上の 2 段目『現金売上』に表示された金額と同じ額を入力します。キャッシュカウントで確認した『実現金残高』から『銀行預入金』をマイナスした金額が『繰越準備金』の額です。『繰越準備金』は『釣銭準備金』と同額になります。(※入金 / 出金がある場合、その限りではありません)

『入金』や『出金』がある場合、『繰越準備金』の金額が変動することがあります

例えば、上記の画像に『入金』10,000 円（一万円札 1 枚）があった場合、『入金』欄に ¥10,000 と表示されると共に、キャッシュカウントで一万円札が 1 枚追加され、『計算現金残高』と『実現金残高』がそれぞれ 10,000 円ずつ加算されます。現金残高から銀行預入金をマイナスした額が繰越準備金の金額になるので、『繰越準備金』が 60,000 円となり、『釣銭準備金』と差が出るようになります。



『銀行預入金の自動入力』の設定について

管理画面の店舗設定に『銀行預入金の自動入力』があります。設定を ON にし、釣銭準備金を入力しておくことで、精算時にあらかじめ釣銭準備金の金額が入力された状態になります。また、金種の枚数から自動的に銀行預入金を計算し表示されます。



スマレジのサポート体制

 メールサポート <p>スマレジご契約者さま向けに、無料にてメール対応を実施しています。お気軽にお問い合わせください。</p> <p>✉ support@smaregi.jp</p> <p>対応時間 AM10:00 ~ PM18:00(平日のみ)</p>	 オンラインサポート <p>スマレジの詳しい使い方や、トラブル発生時の逆引きFAQなどを、専用ウェブサイトにてご覧いただけます。</p> <p>📄 https://help.smaregi.jp/</p>	 ヘルプデスク <p>スマレジのご契約者さま向けに、有料にて365日電話受付可能なヘルプデスクを開設しております。</p> <p>詳しくはお問い合わせください。</p> <p>受付時間 AM9:00 ~ PM22:00</p>
---	---	---